

## 令和4年度京田辺市社会福祉協議会事業報告書

新型コロナウイルス感染症は、流行の波を何度も繰り返しながら3年が経過し、ようやくその流行は終息に近づき、以前のように人の流れとともに社会経済活動も活発になり、本会でもこれまで中止してきた多くの事業が再開されるようになりました。

そのような中で、本会におきましては、第3次京田辺市地域福祉活動計画の最終年度を迎え、これまでの活動を総括して、新たに『お互いさんの心と絆ではぐくむ心豊かなまち 京田辺～みんなが自分らしく輝けるまちへ つなげよう未来～』を基本理念とした第4次京田辺市地域福祉活動計画（令和5年度から令和9年度）を策定し、誰もが住み慣れた地域でいつまでも安心して暮らしていけるよう、これまで進めてきた地域での助け合いやつながりが途切れることなく、さらなる発展に向け、地域住民や関係機関・団体の参加と協働のもと、地域福祉活動を進めてまいります。

在宅サービス事業では、介護講座の開催や定期的な介護者交流会も再開され、介護保険事業（居宅介護・訪問介護・通所介護）では、感染拡大防止に十分配慮して実施することができました。

本会の運営並びに社会福祉事業の推進にご理解、ご協力いただきました多くの皆様に感謝申し上げます、以下のとおり報告いたします。

### 1 社協組織の基盤整備と関係団体との連携強化

#### (1) 社協基盤の強化と組織活動の充実（※カッコ内前年度）

##### ① 社協会員加入状況

7、8月の2ヶ月間を社協会員募集月間とし、各分会において地域役員の協力ならびに市内の各福祉施設や民児協等へ会員の募集を行いました。

会 員 数：6, 897名（7, 118名）

内 訳 普通会員：6, 235名（6, 438名）

特別会員： 639名（645名）

賛助会員： 23名（ 27名）

その他、施設会員：9施設（8施設）

##### ② 支部、分会組織の活動の推進と助成金の交付

小地域福祉活動の基盤と組織的活動の推進をはかるために活動費を交付しました。

・24分会：437, 085円（26分会：456, 931円）

#### (2) 財源の確保と造成（※カッコ内前年度）

① 会費総額：4, 125, 790円（4, 303, 379円）

② 寄付金総額：1, 174, 853円（822, 580円）

一般寄付（個人、団体、分会）36件の寄付を賜りました。

③ チャリティーミニバザーの開催（令和4年11月5日（土））

売上：454, 200円（39, 050円）

### (3) 共同募金事業 (※カッコ内前年度)

#### ① 赤い羽根共同募金

区・自治会(分会)や市内企業の協力を得て、市内での募金運動を展開しました。

募金総額：4, 119, 771円(3, 757, 775円)

内訳 戸別募金：3, 275, 990円(3, 297, 791円)

企業募金：647, 400円(322, 337円)

その他：196, 381円(137, 647円)

令和3年度の募金額をもとに京都府共同募金会からの配分金(2, 050, 760円)により各種事業(当事者団体や福祉協力校への助成、社協だよりの発行、弁護士相談委託料、喫茶りあんの運営等)を実施しました。

#### ② 歳末たすけあい募金

「みんなでささえあうあったかい地域づくり」をスローガンに12月1日から募金運動を実施し、集められた募金は、京田辺市共同募金委員会・審査委員会において審議し、年末、年始にかけて次のとおり配分しました。

募金総額：3, 624, 352円(3, 763, 152円)

内訳 戸別募金：3, 342, 214円(3, 610, 976円)

その他：282, 138円(152, 176円)

配分内容	金額	備考
見舞金(648名)	1,944,000	(見舞金) 身体障害者手帳保持者(1.2級):341名 療育手帳保持者(A,B):173名 ひとり親世帯:64名 精神障害者(1.2級):70名 (おせち料理) 要介護認定1以上で75歳以上のひとり暮らし高齢者
おせち料理(120名)	427,680	
公募による活動補助(16件)	311,834	
社協カレンダー(3,000部)	537,000	
ふとん丸洗いサービス	44,660	
災害対策	188,000	
事務費	70,000	
次年度繰越金	101,178	
合計	3,624,352	

### (4) 広報、啓発活動

#### ① 社協だよりの発行

「京田辺市社協だより(第177号~第180号)」年4回(6月、9月、12月、3月)発行。ボランティアや福祉情報を掲載して、社協活動への理解と意識の高揚、参加促進をはかりました。

- ② ホームページによる情報の提供  
本会の活動やボランティアグループ等の活動を紹介、啓発するためのホームページを適時更新しました。
- ③ SNSの活用  
公式LINEやインスタグラムを活用し、効果的な情報提供やPRに努めました。

#### (5) 社会福祉センターの指定管理（※カッコ内前年度）

- ① 社会福祉センターの指定管理
  - ・開館日数：343日（273日）
  - ・年間利用件数：3,143件（2,410件）
  - ・年間利用者数：34,412名（24,291名）
- ② 社会適応訓練事業所「喫茶りあん」の運営  
精神障害のある方の社会参加や就労支援を進めるために事業所で働くことを通して社会生活適応のための場として10年が経過しました。新型コロナウイルス感染症の影響で、営業時間を短縮（11時～13時または14時）して運営を行いました。
  - ・営業日数：179日（136日）
  - ・年間利用者数：4,521名（2,653名）
- りあんへいこっ！プロジェクト
  - ・第1回 星空エコランタンを作ろう※新型コロナウイルス感染症拡大のため中止  
開催日：令和4年8月8日（月）  
内 容：親子で簡単なエコランタンづくり
  - ・第2回 手形アートで親子のぞうさんを作ろう  
開催日：令和4年9月15日（木）参加者：6家族  
内 容：手形や足形をモチーフに親子で作品づくり
  - ・第3回 ハーバリウムを作ろう  
開催日：令和4年10月17日（月）参加者：6家族  
内 容：みずみずしさが映えるハーバリウムづくり
  - ・第4回 物価高騰を乗り切るために！今すぐできる節約術  
開催日：令和4年12月19日（月）参加者：9名  
内 容：家計を見直し少しでも負担を減らすための知識について学ぶ
- ③ 「いつでもだれでも」の開設（年21回）  
乳幼児の親子の子育てを支援するために、親子同士の交流や悩みなどを意見交換し合える居場所づくりにと、原則月2回第1・3水曜日に講習室を開放しました。
  - ・年間参加者：441名（411名）
- ④ 第7回社会福祉センターふれあいまつり  
開催日：令和5年3月4日（土）  
内 容：ボランティアグループの活動舞台発表、展示・体験、模擬店等の開催

## (6) 会務の運営及び運営組織の見直し

- ① 理事会 5回
- ② 評議員会 2回
- ③ 監事会 1回
- ④ 専門委員会等
  - ・ふれあい福祉委員会 2回
  - ・在宅サービス委員会 1回
  - ・ボランティアセンター運営委員会 2回
  - ・貸付調査委員会 2回
- ⑤ 共同募金運営委員会・分会長会 2回

## (7) 役職員研修会等への参加

### ① ふれあい福祉課関連

地域福祉コーディネーターリーダー研修会、福祉職場研修担当リーダー研修、福祉職場組織力向上セミナーⅠ、福祉リーダーの極意を学ぶセミナー、地域福祉コーディネーターリーダー研修会、チームビルディング研修、市町村社協ボランティア担当者会議、福祉サービス利用援助事業専門員新任研修、福祉サービス利用援助事業生活支援員及び専門員現任研修、関係機関団体等との連絡会議、山城北中部広域社協合同講座（事例検討会）、成年後見制度利用促進体制整備研修（基礎・応用）、家族支援実践研修会、市町村社協新任職員研修、法律相談委託団体相談担当職員研修会、福祉職場の魅力発信！SNS活用セミナー、認知症の人の意思決定支援研修、ひきこもり支援対応強化研修

### ② 在宅サービス課・ホームヘルプセンター関連

キャリアアップ研修（中堅職員）

### ③ 在宅サービス課・ケアプランセンター関連

京田辺市介護支援専門員等研修、京都府主任介護支援専門員研修、看取りサポートの人材養成研修

### ④ 在宅サービス課・常磐苑デイサービスセンター関連

キャリアアップ研修（中堅職員）、対人援助の基本姿勢・相談面接技術セミナー（基礎編）、福祉職場におけるケース記録の書き方セミナー、認知症介護基礎研修

## (8) 第4次京田辺市地域福祉活動計画の策定

第4次京田辺市地域福祉活動計画策定委員会を設置して、幅広く意見を求めると共に、作業部会において策定作業を進めました。

- ① 策定委員会 3回
- ② 作業部会 8回
- ③ アンケート調査

社協職員、中学生・高校生、企業・商店（まちづくりサポーター企業）、障害福祉サービス事業所、介護保険サービス事業所、大学生（同志社大学ボランティア支援室等）、

子育て世帯、一般（社会福祉センター利用者、アルプラザ京田辺店来客者）

④ 懇談会

京田辺市視覚障害者協会、京田辺市難聴者協会、京田辺市聴覚障害者協会、京田辺市ボランティア連絡協議会

⑤ その他

○「I♥京田辺ふれあいワークショップ」において、意見集約を行いました。

○地域づくりフォーラム『みんなが自分らしく輝けるまちへ つなげよう未来』の開催

※6 ページ ③地域づくりフォーラム参照

## 2 小地域福祉活動の推進と普及

### (1) I♥京田辺ふれあいワークショップ（令和4年11月20日(日)）

区・自治会長をはじめ、民生委員や社協役員を参加対象とし、前回までに出された課題について解決策となる具体的なアイデアを出しあった。結果については、今後のワークショップや研修会等に活用していきます。

### (2) 地域ひとつなぎ事業

高齢者の孤独や孤立を防ぐことを目的に、住民や地域組織主体で展開される戸別の訪問活動への支援をする「地域ひとつなぎ事業」として助成金を交付しました。

・助成団体（3団体）：一休ヶ丘、南山西分会、東区第4ブロック安全安心見守り隊

### (3) ふれあいサロン活動（※カッコ内前年度）

地域（区・自治会(分会)）において、高齢者の地域参加の促進や見守り、子育て支援、住民同士の交流などを目的とした活動に対し支援を行いました。

・活動助成金交付額：1,022,000円（776,050円）

・交付を受けた分会団体等数：19件（17件）

分会等：花住坂、薪、一休ヶ丘、草内、飯岡、南山東、多々羅、普賢寺、山手南ローズ会、打田ファミリー、ふくろう会、田辺民児協、子育てさくらんぼ、にこにこ茶話会、東区第4ブロック、河原、西八、新興戸、メロディフェア

### (4) 第10回きょうと地域福祉活動実践交流会（参加者：19名）

令和5年1月21日（土）オンライン会議システムZoomにより、各会場間のネットワーク通信にて開催された。

講演：『コロナ禍において、今、地域福祉活動に求められていること』

講師：ご近所福祉クリエイター 酒井 保氏

実践報告 ①木津川市（山城小助け隊アッピー）発表者：阪本 守 氏

②精華町（株式会社 花駒）

発表者：総務課長兼プランニング企画室リーダー 宮野 舞 氏

③笠置町・和東町・南山城村（わかみなチャンネル）

発表者：和東町社会福祉協議会 岩崎 聡宗 氏

## (5) 絆ネット構築支援事業

### ① 地域福祉力向上のためのネットワークづくり

地域の連携について協議を行う地域ネットワーク会議およびサロン・見守り等地域福祉活動の支援を行いました。

- ・地域ネットワーク会議：1地域・2回実施

実施地域：一休ヶ丘

- ・地域活動支援：15地域・43回実施

実施地域：大住ヶ丘、興戸、草内、松井ヶ丘、一休ヶ丘、新興戸、同志社山手、府宮団地、多々羅、南山西、健康村、普賢寺、西八、山手南、常磐苑

### ② まちづくりサポーター(市民・企業)の養成及び登録

まちづくりサポーター企業23社登録

### ③ 地域づくりフォーラム『みんなが自分らしく輝けるまちへ つなげよう未来』

開催日：令和5年2月25日(土)

場 所：京田辺市商工会館 <Youtube ライブ発信>

参加者：83名(会場69名、オンライン14名)

内 容：第4次京田辺市地域福祉活動計画策定報告

【基調講演】「活動計画から見えてきたこれからの地域づくり」

講 師：北垣 智基 氏(天理大学人間学部人間関係学科准教授)

トークセッション

「新旧なかよく」 池永 洋 氏(山手南民生委員)

「山里からのメッセージ」 中川 美也子 氏(普賢寺地域民生委員)

### ④ 関係機関との連携のためのネットワークづくり

○地域ケア会議：2回

○生活支援コーディネーター会議：11回

○自立支援協議会地域生活支援部会：6回

○消費生活センター：3回

## 3 福祉教育・ボランティア活動の推進

### (1) ボランティアセンターの運営

#### ① ボランティア登録と受給調整(※カッコ内前年度)

・登録団体：46団体(48団体)

・準登録団体：11団体(10団体)

・登録者数：1,218名(1,230名)内個人ボランティア61名(80名)

#### ② リフトカー「ふれあい号」及び「やまびこ号」による送迎サービス

・利用登録者：66名(82名)

・運行回数：466件(431件)

・送迎ボランティア：7名(14名)

○安全運転講習会の実施

・開催日：令和4年10月12日(水)、11月2日(水)

- ・内 容：交通ルールの再確認、実技講習等
- ③ ふれあいテレフォンサービス事業の実施
- ボランティアグループ「たんぽぽ」7名が、自宅や社会福祉センターのテレフォン室から各対象者に電話による友愛訪問、安否確認を行った。(※カッコ内前年度)
- ・サービス利用者：14名(18名)
  - ・サービス回数：305回(247回)
  - ・通話延べ時間：1,585分(1,686分)
- 七夕まつりの開催(参加者：3名、ボランティア：5名)
- テレフォンサービスの利用者とボランティアが一年に一度顔を合わせて親睦を深めることを目的とした交流会を実施した。
- ・開催日：令和4年7月1日(金)
  - ・内 容：七夕飾り、音楽家協会(岡本悦子氏)によるミニコンサート
- むつみ会員へのテレフォンサービスの実施(対象者：24名、124回)
- 秋の交流会(参加者：6名、ボランティア：5名)
- ・開催日：令和4年11月11日(金)
  - ・内 容：一休寺散策
- テレフォンサービスボランティア研修会(参加者：6名、ボランティア：4名)
- ・開催日：令和5年3月15日(水)
  - ・内 容：笑いヨガ
- ④ 活動基盤整備事業
- 活動機材(コピー機、ボランティアルーム、倉庫)の管理
  - 本会登録ボランティアのボランティア保険への加入(基本Aプラン300円)
  - モバイルWi-Fiルーターの貸出
  - アクリルスタンドの貸出
- ⑤ 「声の広報ほっと京田辺」「声の京田辺市議会だより」「声の学びの情報誌」の受託市からの委託を受け、朗読ボランティアサークル「せせらぎ」(CDへの吹き込み)、点字サークル「すみれ」(点字シールの作成)の協力により作成し、視覚障がい者など希望者へ送付しました。
- 「声の広報ほっと京田辺(60分)」は年間12回(各30本制作)
  - 「声の京田辺市議会だより(60分)」は年間4回(各21本制作)
  - 「声の学びの情報誌(60分)」は年間4回(各10本制作)
- ⑥ コミュニケーション事業の受託
- 点訳奉仕員養成講座
    - ・開催日：令和4年5月13日(金)～7月1日(金)[全8回]
    - ・講 師：田辺点字サークル「すみれ」会員 受講者：6名(内修了者5名)
  - 朗読奉仕員養成講座
    - ・開催日：令和4年9月21日(水)～12月14日(水)[全10回]
    - ・講 師：朗読ボランティアサークル「せせらぎ」会員 受講者：10名(内修了者6名)

○要約筆記奉仕員養成講座

- ・開催日：令和4年9月22日（木）～10月27日（木）[全6回]
- ・講師：要約筆記サークル「たけのこ」会員 受講者：3名（内修了者2名）

⑦ ボランティア活動へのきっかけづくり

○撮影ボランティア養成講座(3回講座)

社協行事や地域行事、ボランティア活動の様子を写真に収め、SMS等に掲載して発信するためのボランティアを養成しました。

- ・開催日：令和5年1月27日（金）、2月3日（金）、9日（木）
- ・参加者：10名（内7名が修了）
- ・講師：伏見の写真館これから フォトグラファー 中田 絢子 氏

○TANABE♡PROJECT

学生がボランティア活動や地域の人たちと出会い関わりを持つきっかけづくりに向けて、「同志社大学ボランティア支援室」、「同志社女子大学ボランティア活動支援センター」及び関係機関との調整、検討を行いました。

- ・エール交換プロジェクト
- ・フードバンク食品配布会

⑧ ボランティアグループ活性化促進事業（9グループ）

○地域研修事前勉強会、活動PR会（カラオケサークルすみれ会） 参加者：27名

- ・開催日：令和4年8月5日（金）、10月5日（水）
- ・内容：研修の資料を基に事前の勉強会を行い、近江八幡市に研修旅行を行い、勉強会や普段の居場所づくり活動の様子、会の雰囲気を対外的に広報しました。

○子ども達と楽しむわらべうた・絵本（京田辺子ども文庫連絡会） 参加者：15名

- ・開催日：令和4年9月14日（水）
- ・内容：岩出けい子氏を講師を招き手遊び・わらべうた、絵本について講習を受けて、お話会などですぐに役立つスキルを教わり、実践に結び付けました。

○アロマ&リンパ フットセルフケアセミナー（アロマ&リンパ「癒し塾」）参加者：16名

- ・開催日：令和4年9月28日（水）
- ・内容：アロマオイル等を使用して、フットセルフケアの施術を指導して、リンパ理論の講習をしたのち、実際にリンパドレナージュの施術を体験してもらいました。

○傾聴ボランティア養成講座（傾聴ボランティア「カモミール」） 参加者：6名

- ・開催日：令和4年10月6日、13日、20日（木）
- ・講師：小松 真佐子 氏、加藤 誠 氏
- ・内容：コミュニケーション技術を養いながら人の話に耳を傾け、気持ちに寄り添い受け止めることを学び、ボランティアとして携わっていただける方を募集して4名の入会がありました。

○朗読研修会（朗読の会“萌え”） 参加者：6名

- ・開催日：令和4年7月26日、8月23日、9月27日、10月25日（火）
- ・講師：前田 綾子 氏

- ・内 容：小説・絵本を題材に、音訳やライブ活動を行われてきた先生を講師に招き、聞いてわかる朗読のために具体的に指導していただきました。
- 京田辺市民まつり 能舞台・今昔写真展示（NPO法人すきなまち京田辺塾）
  - ・参加者：200名
  - ・開催日：令和4年11月5日（土）、6日（日）
  - ・内 容：展示に来所者した市民に京田辺市の魅力を再発見してもらうことを目的に、市内に能楽発祥の碑があることをきっかけにテーマを設定し、同志社大学の能楽クラブの協力のもと実演をしたり、クイズの出題などを行いました。
- 朗読研修会（朗読ボランティアサークルせせらぎ） 参加者：10名
  - ・開催日：令和5年2月3日、10日（金）
  - ・講 師：栗山 かおり 氏（朗読家）
  - ・内 容：発声練習や呼吸法、活舌、正しい表現など、一人ひとりが聞き取りやすい収録に向けて学びました。
- 市民ねっと楽学塾（まちづくり市民ねっと京田辺） 参加者：延べ212名
  - ・開催日：令和4年4月～令和5年3月 11回
  - ・内 容：まちづくり・災害・生涯学習・国際交流・地域の歴史、文化・健康などについて、専門家や大学教授に学びました。
- 健康音楽会（健康つぼ愛好会） 参加者：20名
  - ・開催日：令和5年1月29日（日）
  - ・内 容：cafe キンコヤで開催。心の健康とカラダの健康を統合的に提供したイベントにより、心もカラダもリラックスしました。

#### ⑨ フードバンク活動の運営

各家庭で余っている食品を収集して、必要とする福祉団体等へお渡しする活動と調整を行いました。また、取り組みを周知するための啓発活動も併せて行いました。

[フードドライブの実施状況]

- ・コープ京田辺店 毎月第1土・日曜日
- ・エコパークかんなび 営業時間内
- ・ダイエーくずは店 毎月第3週月～日曜日
- ・アルプラザ京田辺店 毎月第2土・日曜日
- ・フレスト松井山手店 毎月第1土・日曜日
- ・京田辺市立社会福祉センター 開館時間内

※その他、イベント等で実施

#### ⑩ ボランティア活動の啓発と普及

##### ○ボランティア活動展

- ・開催日：令和5年2月7日（火）～13日（土）アルプラザ京田辺店セントラルコート
- ・内 容：アルプラザ京田辺店のセントラルコートをお借りして、ボランティアグループの活動の様子を紹介したり、日替わりブースにてPRする場を設けました。また、“つなぐ”をテーマにメッセージを募集しました。

## ⑪ 組織強化事業

### ○ボランティアグループへの活動助成金の交付

[京田辺市社協からの助成金：555,000円]

- ・1次募集：443,000円（15グループ）
- ・2次募集：112,000円（3グループ）

[京都府社協からの補助金：340,220円]

- ・スタートアップ支援補助金（ほっふ）：80,000円（3グループ）
- ・ボランティア活動特別補助金（じゃんぷ）：160,900円（1グループ）
- ・地域課題支え合い補助金（サポート）：99,320円（1グループ）

### ○バス借り上げ補助金：469,160円（5グループ）

### ○ボランティア連絡協議会の活動支援

- ・活動補助金の交付：240,000円
- ・管外研修

## ⑫ 災害ボランティアセンターの運営と体制強化

### ○災害ボランティア事前登録者の状況（※カッコ内前年度）

- ・事前登録者：個人49名（48名）、団体名4団体（4団体）

### ○研修会等への参加

- ・令和4年度京田辺市災害ボランティアセンター研修会（参加者：50名）  
開催日：令和5年3月11日（土）  
内 容：災害ボランティアを経験して  
報告者：海老名 典子 氏（宇治市災害ボランティアセンター副代表）  
宮城 光夫 氏（京都災ボラバンク縁 代表世話人）

### ○災害ボランティア出前講座の実施

- ・大住小学校：令和4年7月14日（木）
- ・田辺小学校：令和4年12月5日（月）

### ○福祉用備品の整備

- ・ポータブル電源の購入（歳末たすけあい募金配分金）

### ○研修会等への参加

- ・令和4年京都府災害ボランティアセンター総会
- ・災害ボランティアマネジメント研修
- ・令和4年度京都府災害ボランティアセンター全体研修会
- ・京田辺市シェイクアウト訓練
- ・令和4年度避難所運営訓練
- ・令和4年度京都府災害ボランティアセンター初動支援チーム新規登録者向け研修
- ・令和4年度京都府災害ボランティアセンター災害支援コーディネーター養成講座
- ・令和4年度福祉避難サポートリーダー養成研修

## (2) 福祉教育の推進事業

### ① 市内小中学校と連携した福祉教育の活動推進と実践

#### ○福祉協力校への助成金

社会福祉への関心を高め、福祉の心やボランティア精神の醸成を目的とする市内各学校独自の福祉教育活動に対して30,000円を上限に助成金を交付する。

小学校9校、中学校2校に299,720円を助成。

○福祉協力校との連携活動

福祉協力校事業を行う各小中学校と連携し、障がい者理解や高齢者理解など福祉育を企画、検討し実施しました。

- ・申請校数：手話学習9校、点字学習4校、車いす体験11校、アイマスク体験（視覚障がい当事者の講話）8校、障がい当事者の講話（肢体含む）1校  
認知症サポーター養成講座7校、防災学習2校、昔遊び3校

② 社会福祉体験学習事業

夏休みを利用し、京田辺市内の4つの中学校と2つの高等学校の生徒を対象に、社会福祉施設や団体の利用者や職員との交流を通じて、福祉に対する意識づくりや関心が高まるよう社会福祉体験学習を実施しました。

- ・参加校数：6校
- ・参加生徒数：82人
- ・体験施設数：25施設・グループ

## 4 市民福祉の向上と地域福祉活動の推進

### (1) 高齢者福祉事業

① 白寿の方への記念品（ひざ掛け）の贈呈（20名）

② 市内高齢者施設への記念品（タオル）の贈呈（5施設）

贈呈施設：セピアの園、やすらぎの杜、洛南寮、つつきの郷、九十九園

③ ふれあい給食サービスの実施（延べ受給者：174名、総配食数：3,050食）

ひとり暮らしの高齢者及び高齢者世帯等対象に友愛訪問による給食サービスを提供しました。給食調理については、給食調理ボランティアグループ「あじさい」と市内の老人ホーム（洛南寮、セピアの園、つつきの郷、やすらぎの杜）の協力を得、配食にあたっては、配食ボランティア、民生児童委員、分会長に協力いただき、月2回、夕食として配食しました。また、ふれあい昼食会の代わりに、特別メニューのお弁当をあじさいに作っていただき、市内全域に配食しました。

○ふれあいの掲示板の発行

④ ひとり暮らし高齢者への社会参加促進事業

○ひだまりの会の開催

- ・開催日：令和4年 4月19日（火）社会福祉センター 参加者：7名  
5月17日（火）社会福祉センター 参加者：8名  
6月21日（火）社会福祉センター 参加者：4名  
9月27日（火）社会福祉センター 参加者：12名  
10月18日（火）北部住民センター 参加者：11名  
11月15日（火）北部住民センター 参加者：4名

内 容：季節の歌と脳活性化ゲーム

- ・開催日：令和4年7月19日（火）社会福祉センター 参加者：6名

内 容：ミニ音楽会

- ・開催日：令和4年12月16日（火）宝生苑 参加者：6名

12月20日(火) 社会福祉センター 参加者：16名

内容：干支の色紙づくり

・開催日：令和5年1月17日(火) 社会福祉センター 参加者：13名

2月21日(火) 北部住民センター 参加者：4名

内容：季節の歌とゲーム(ボッチャ)

○ひとり暮らし高齢者等のふれあい交流会

高齢者同士、地域住民およびボランティアとの交流の場として実施。

開催日：令和4年9月30日(金) 中部住民センター

内容：パステルアート体験(指導：白井 多実 氏)

アロハエンゼル田辺によるフラダンス

参加者：高齢者5名、ボランティア1名

⑤ ひとり暮らし高齢者の会「むつみ」の支援(会員数：43名)

○主な活動：倶楽部活動(夢倶楽部(太極拳)、彩倶楽部(認知症予防ゲーム))を  
実施、会員へのお誕生日カード送付、会報の発行について実施(89号、  
90号)

⑥ ひとり暮らし高齢者への「ふれあいCD」の発刊

ひとり暮らしの高齢者へ朗読ボランティアサークル「せせらぎ」の協力を得て、毎月  
1回「せせらぎおしゃべり訪問」のCDを作成し、12名に送付しました。

⑦ 市老人クラブ連合会とひとり暮らし高齢者の会「むつみ」への助成

## (2) 障がい者福祉事業

① 「障害者週間」啓発事業

綴喜二市二町において、「障害者週間」の意義を啓発することを目的に実行委員会を組織し、八幡市社協が当番を担い事業に取り組みました。

○啓発活動

12月3日から9日までに障害者施設、公共施設等で啓発物品(ウエットティッシュ)の配架による啓発活動を行いました。

○記念式典及び記念事業

開催日：令和4年12月8日(木) 八幡市文化センター 小ホール

○記念式典：開会挨拶、来賓祝辞、障害者社会参加宣言等

【記念講演】 演 題：『大切な人の“想い”とともに』

講 師：清水 健 氏(フリーアナウンサー)

参加者：150人(二市二町)

② 障害者団体への助成と行事等への支援

助成団体：身体障害者協会、聴覚障害者協会、視覚障害者協会、難聴者協会

③ 買い物支援活動

移動が困難な人を対象に月1回土か日曜日に送迎・配食ボランティア「やまびこ」の協力により買物支援を行った。(※カッコ内前年度)

・利用登録者数：5名(10名)

- ・利用者延べ数：15名（8名）
- ④ 障害者交流事業・障がい者のつどい（令和5年2月4日（土））  
内 容：ボッチャで交流
- ⑤ 京田辺市障がい者スポーツ大会・友遊フェスタ（令和4年10月8日（土））

### （3）青少年児童福祉事業

#### ① ひとり親家庭への支援事業

○親子ふれあいの集い（第1回）参加者：24名

竜王野外活動センターにて、アウトドアクッキングと木工クラフトをして楽しみました。

・開催日：令和4年6月12日（日）

○クリスマス会の開催 参加者：35名

親子でクリスマスフラワーアレンジメントづくりとコンサートを楽しみました。

・開催日：令和4年12月11日（日）

○親子ふれあいの集い（第2回）参加者：17名

新入学児童を祝う会終了後にお楽しみ会として、カブリモノ作家のチャッピー岡本氏を招き、創作しました。

・開催日：令和5年2月12日（日）

○ひとり親家庭小学校入学児童へ祝品（図書カード）の贈呈（7世帯）

#### ② 子育て支援事業

○子育て講演会の開催

京田辺市と京田辺市要保護児童対策地域協議会との共催で、今年度は京田辺市が担当年として開催しました。

・開催日：令和4年11月15日（火）

・講演会：講 師：橋本 和明 氏（国際医療福祉大学・大学院教授）

演 題：『発達と愛着の課題のある子どもの支援』

○子育てワークショップ ※りあんへいこっ！プロジェクトとして開催

※3ページ 〇りあんへいこっ！プロジェクト参照

#### ③ 京田辺市児童福祉事業への協力

○児童虐待防止月間の取組

・児童虐待防止月間街頭啓発 ※新型コロナウイルス感染症拡大のため中止

・社会福祉センターにおいて、啓発グッズを設置し啓発活動を行った。

○京田辺市子どもの主張大会

市内の子どもたちが日ごろ感じたことを発表する「子どもの主張大会」（令和4年11月27日（日）開催で、発表した児童、生徒に記念品として図書カードを贈りました。

#### ④ 団体への支援、協力

○活動助成金の交付：なし

**(4) ふれあい福祉センター事業 (※カッコ内前年度)**

心配事や不安など日常生活で抱える様々な問題について解決の糸口を見つけられるよう常駐の相談員を配置するとともに、有識者や専門家による相談窓口を開設。

(相談内容：1位 生計問題554件、2位 人権や法律問題、財産のこと404件)

- ① ふれあい相談室(月～金曜日の午前9時～午後4時)の開設
  - ・相談総件数：1,228件 (1,032件)
  - ・取扱方法：電話562件、来所588件、その他78件
- ② 心配ごと相談所(原則毎月10日、25日 午後1時30分～午後4時)の開設
  - ・相談件数：6件 (5件)
- ③ 専門相談の開設
  - 弁護士相談 (年12回、京都弁護士会)
    - ・相談件数：60件 (54件)
  - 司法書士相談 (年12回、京都司法書士会)
    - ・相談件数：54件 (45件)
  - 税務相談 (年4回、近畿税理士会宇治支部)
    - ・相談件数：16件 (16件)
  - 成年後見制度相談 (年12回、成年後見センター・リーガルサポート京都支部)
    - ・相談件数：23件 (8件)
  - これからのこと相談 (年12回)
    - ・相談件数：4件 (4件)
- ④ 相談員による研修会の実施
  - ・開催日：令和5年2月13日 (月)
  - ・内 容：体験研修グループワーク
  - ・テーマ：「バスは待ってくれない」

**(5) 福祉サービス利用援助事業 (地域福祉権利擁護事業)**

原則毎月1回(30日)に「これからのこと相談」の窓口を開設しました。生活支援員等による支援した利用者は41名。

**(6) 貸付事業**

① 生活福祉資金の貸付状況

(※カッコ内前年度)

種 類	件 数	世帯数	貸 付 金 額 (円)
総合支援資金	1(1)	1(1)	450,000(261,000)
教育支援資金	18(16)	10(8)	7,153,000(7,170,000)
福祉資金・福祉費 (生活必需品等)	7(7)	7(7)	586,000(461,000)
福祉資金・障害者自動車購入費	1(0)	1(0)	1,880,000(0)
福祉資金・冠婚葬祭費	1(0)	1(0)	365,000(0)
福祉資金・緊急小口資金	2(0)	2(0)	200,000(0)
合 計	30(24)	22(16)	10,634,000(7,892,000)

② 生活福祉資金償還状況の報告

各地区の民児協会長、借受者担当民生委員へ報告書を提出し、滞納者については担当民生児童委員と連携して償還について検討対応しました。

③ 新型コロナウイルス感染症の影響による特例貸付

・受付期間：令和2年3月25日～令和4年9月30日

・貸付件数：1,369件

・貸付金額：約5億4000万円

○緊急小口資金：559件

○総合支援資金特例貸付（初回）：374件

○総合支援資金特例貸付（延長貸付）：201件

○総合支援資金特例貸付（再貸付）：235件

④ 物価高騰対策緊急支援事業

物価高騰や長期化するコロナ禍の影響により生活に困窮されている方々に食料品と生活必需品の配付を550世帯に行いました。

(7) ひきこもり支援事業

① 京田辺市拠点型居場所支援事業「ほっこりあん」として喫茶りあんの一角を居場所として設置し対応しました。

② 京田辺市ひきこもり支援事業の相談窓口を設置し対応しました。

5 在宅福祉・介護保険事業の推進

(1) 訪問介護（ホームヘルプセンター）

介護保険制度における要介護、要支援の認定を受けた方が対象となる訪問介護事業、介護予防・日常生活支援総合事業と自立認定を受けた高齢者及び支援が必要と認められた産前・産後の産婦の方に対するホームヘルプ事業と、障害者総合支援法に基づく身体障害者、知的障害者、精神障害者を対象とした障害福祉サービス事業及び移動支援事業を展開し、自立と社会参加の促進に向けたサービスの提供を行いました。

① 職員体制

センター長1名、サービス提供責任者4名、非常勤ヘルパー20名で業務にあたりました。

② 派遣活動実績

(※カッコ内前年度)

区 分	派遣延べ回数	利用者実人数
介護保険（訪問介護）	5,769回(6,036回)	85人(85人)
介護予防・日常生活支援総合事業 （介護予防相当）	1,111回(1,126回)	29人(28人)
障害福祉サービス（居宅介護）	871回（802回）	9人(11人)
障害福祉サービス（重度訪問介護）	0回(0回)	0人(0人)

高齢者生活支援ヘルパー派遣事業（市委託）	4回(38回)	1人(4人)
産前産後ヘルパー派遣事業（市委託）	422回（333回）	20人（22人）
生活サポート事業（市委託）	0回(0回)	0人(0人)
移動支援事業（市委託）	146回（77回）	8人(9人)
介護保険外サービス	7回(49回)	3人(5人)

③ 会議及び研修の実施

利用者の状況やサービスの内容などの確認や検討及びヘルパー間で情報が共有できるよう常勤、非常勤職員による合同会議を概ね月1回行いました。利用者への適切な対応がはかれるよう接遇マナーやプライバシー保護の研修や、また新型コロナウイルス感染予防対策のための研修を実施しました。

④ ヘルパーの健康管理事業等

- ・健康診断の実施
- ・インフルエンザ予防ワクチン接種に対する補助

⑤ 保険制度等への加入

福祉事業者総合保障制度（傷害保険、賠償責任保険）ならびに労災保険への加入

**(2) 通所介護（常磐苑デイサービスセンター）**

要介護、要支援の認定を受けた方が対象となる地域密着型通所介護、介護予防・日常生活支援総合事業等のサービスを提供。利用者等の体調管理や消毒などを徹底し新型コロナウイルス感染対策に取り組みました。

① 職員の配置

センター長1名（常勤・介護職員兼務）、介護職員11名（常勤2名、非常勤9名、内3名生活相談員兼務）、機能訓練指導員3名（常勤1名、非常勤2名看護職員兼務）、看護職員3名（非常勤、内2名機能訓練指導員兼務）、運転職員1名（非常勤）を配置し業務にあたりました。（実人数12名）

② 事業実績

（※カッコ内前年度）

区 分	延べ利用回数	利用者実人数
介護保険（地域密着型通所介護）	2,799回（2,634回）	47人（48人）
介護予防・日常生活支援総合事業（介護予防相当）	471回（527回）	7人（8人）

③ サービス内容

個別機能訓練、レクリエーション、生活相談、健康チェック、健康指導、入浴、昼食、送迎等の各サービスの提供、個別通所介護計画の作成（昼食の調理は、セピアの園に委託）

④ 運営推進会議の開催（2回）

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、議事資料を配布し、意見等を諮ることで実施

しました。

⑤ 事業実施の調整及び研修の受講等

利用者の健康状態や情報の共有、デイサービスの運営など職員間で意見交換を図るため月1回職員会議を実施しました。

(3) 居宅介護支援（ケアプランセンター）

介護保険事業における居宅介護支援事業者として、ケアプランの作成、介護保険サービス事業所や関係機関との連絡調整等、要介護認定に伴う訪問調査を実施。

① 職員の配置

センター長1名（主任介護支援専門員）のもとに、介護支援専門員（ケアマネジャー）を4名（介護福祉士3名、保健師1名）で業務にあたりました。

② 事業実績

（※カッコ内前年度）

区 分	給付管理月平均、実利用者等
介護保険（居宅介護支援）	給付管理月平均：131件（154件）
介護予防支援及び介護予防ケアマネジメント（市委託）	実利用者数：11人（6人）
要介護認定訪問調査（市委託）	訪問調査件数：49件（67件）

(4) 地域窓口相談事業

相談員1名配置し、要援護者、介護者等の在宅介護に関する総合的な相談にも応じるとともに、相談ニーズに応じた各種の福祉、サービスが総合的に受けられるよう市地域包括支援センター、介護保険サービス事業所等との連絡や調整等を行いました。

① 相談事業実績（※カッコ内前年度）

（相談内容）

・介護保険認定関係	5件（14件）
・在宅サービス関係（住改・福祉用具以外）	3件（4件）
・介護保険住宅改修・福祉用具関係	65件（64件）
・施設入所関係	5件（2件）
・認知症及び精神保健相談	1件（2件）
・高齢者福祉サービスにかかる相談	0件（0件）
・医療、健康にかかる相談	0件（0件）
・介護者（家族）の健康にかかる相談	0件（0件）
・その他	7件（6件）

相談延べ件数：86件（92件）

(5) おたっしや応援事業

市内在住の65歳以上の高齢者を対象に外出する機会や気力が薄れ、体力的にも不安で家にこもりがちな方、交友関係やコミュニケーションをはかりたい方をはじめとして、

高齢者が心身ともに元気で過ごせるよう、介護予防を目的とした内容(血圧測定や健康相談、体操や物づくりなど)で実施。運営に当たっては、社協地域役員をはじめ、区・自治会や民生児童委員、老人会などの協力を頂きました。(※カッコ内前年度)

① 実施地域：12地域(7地域)

田辺、飯岡、草内、同志社住宅、薪、大住ヶ丘、健康村、府宮団地、新興戸、多々羅、健康ヶ丘、松井ヶ丘

② 実施回数：65回(35回)

③ 参加延べ人数：965名(528名)

## (6) 認知症サポーター養成講座

認知症になっても安心して暮らせるまちづくりを進めるために認知症について、正しい知識や対応についての講座を実施。

① 一般講座(2回)

開催日：令和4年11月15日(火)社会福祉センター 受講者：8名

令和5年 3月16日(木)北部住民センター 受講者：16名

② 出前講座(1回)ステーションボウル新田辺

開催日：令和5年1月25日(水)受講者：11名

③ 小中学校(7校)受講者：532名

## (7) 家族介護支援事業

① 介護者の情報紙「さゝえ」の発行

市内の介護者に向けて、介護講座やリフレッシュ事業等の情報を掲載した情報誌を発行しました。(9月、2月発行)…介護者121名、111名に送付

② 介護講座の開催

『介護の方法(実技)～在宅介護の排泄介助について～』

開催日：令和4年10月18日(火)社会福祉センター 参加者：9名

講師：社協ホームヘルプセンター職員

協力：株愛安住

○いきいきケア講座の開催(2回)

・第1回 脳活性化のための臨床美術

『いきいき脳活性化プログラム【さつまいもの量感絵】』

～さつまいもを食べて感じた感想を絵にしましょう～

開催日：令和4年11月18日(金)三山木福祉会館 参加者：2名

講師：荒木 忍 氏(臨床美術士)

・第2回 食事の介護講座『少量でしっかり栄養がとれる秋の味覚シニアご飯』

開催日：令和4年11月25日(金)三山木福祉会館 参加者：5名

講師：高木 あゆみ 氏(冷蔵庫マイスター)

## (8) ふとん丸洗いサービス事業

在宅で療養中の常時介護が必要な60歳以上の方を対象に、快適な生活環境を保つことと在宅介護を担う介護者の負担軽減を目的に実施。(年2回)

令和4年度から、介護者の健康と安心を目的とし介護者の布団丸洗いサービスも実施。(年1回)

利用合計数…要介護者：19名(令和4年7月～令和5年3月)

介護者：9名(令和4年12月)